

「学習成果を地域に活かしていくための社会教育事業のあり方の具体的施策について」答申の骨子

1. 「学びの成果を地域で活かす」ことの意義と役割

(1) 「学びの成果を地域で活かす」ことの意義

- ・学習活動は、それ自体として意義があるものであることに加えて、それが地域の中で活かされることで地域づくりに貢献するものであり、それを推進していくことが望まれている。
- ・目黒区生涯学習実施推進計画⇒重点プロジェクト『学習の成果を地域に生かす区民を増やすための環境の整備』に位置づけ

(2) 中央教育審議会生涯学習分科会及び生涯学習審議会からみる国の動向

- ・常に学習の成果を地域で活かすことの重要性とそのための方策を答申。

(3) 東京都の取組み

- ・地域の大人や団体がそれぞれの経験や学習の成果を活用して、子ども・若者の教育活動に取り組むものであり、学びの成果を活用するための具体的な活躍の舞台を形成し続けている。

(4) 学びの成果の活用をめぐる留意点

- ・学びの成果の活用を進めるにあたって、「一人ひとりが自らのために学び、生きがいをつくっていくこと」を重視。
- ・「学び」：ノンフォーマルやインフォーマルな学習など広く捉え、これまでの経験から得られる知見を含めた幅広い概念。

2. 「学びの成果を地域で活かす」ことに関する現状

目黒区で行われている様々な活動の紹介

- ・それぞれの人生経験を総合的に活かしながら地域づくりや子育て支援を行っているサークル活動
- ・丁寧なオリエンテーションによるボランティアのマッチングを行っている目黒ユネスコ協会
- ・地域のサークルがこれまでの学びの成果をもとにして自主企画講座を行う「地域サークル講座」
- ・目黒区ならではの住区住民会議
- ・小・中・高校での学校と地域との連携
- ・地域で子どもに関わる様々な団体の特徴や個性を活かした地域との関わりを創出する活動
- ・専門性を持ったメンバーが地域等でスポーツの指導を行う NPO 法人体育協会
- ・企業の CSR (Corporate Social Responsibility) の一環として地域貢献が行われている事例

3. 「学びの成果を地域で活かす」ための課題と今後の方策

(1) 住民が地域と出会う「場」や「機会」を創る

<課題>

- ・住民が地域と出会うきっかけをつくり、具体的な方法や道筋を提供すること
- ・イベント的な地域交流活動を間口にしながら、住民が地域とより具体的・直接的に出会うきっかけをつくること
- ・学びの活性化を支援するための方策の必要性
- ・多様な地域住民と地域が出会うきっかけ作りの必要性

<具体策例>

- ・「地域の活動を行いたいと思っているが、方法がわからない」人と地域のニーズを結び付けられるような仕組みの構築
- ・地域の情報や人と出会うことのできるようなまちづくり講座の実施 など

(2) 一人ひとりの意欲や能力を活動につなげる道筋づくり

<課題>

- ・団体・サークルに所属しなくても学びの成果を地域で活かせる道筋づくり
- ・個人と地域のニーズが会いつなげていくことのできるプラットフォーム作り
- ・団体・個人の活動情報にアクセスしやすい環境づくり

<具体策例>

- ・地域活動についての情報交換ができるサロン等の場の提供
- ・地域の活動と地域の人をつなげるコーディネーターの発掘と養成
- ・コーディネーターが活躍する基盤となるプラットフォーム(組織)づくり
- ・イベント時にお手伝いをしてくれる方を集めるための呼びかける仕組みづくり(電子伝言板など) など

(3) 社会教育関係団体の活動経験や成果を将来につないでいく

<課題>

- ・歴史ある団体の活動の活性化と伝承
- ・リーダー・指導者の育成

<具体策例>

- ・さまざまな団体会い、話し合うフォーラムの実施
- ・団体同士の交流の場を活用したリーダーの育成支援 など

(4) 一人ひとりのキャリア形成を職業だけでなく、社会的活動も含めて広くとらえられるような支援体制の構築

<課題>

- ・地域との関わりとキャリア形成を結びつける取組み

<具体策例>

- ・キャリアパスポート(様々な学習活動とともに職業経験・地域活動等の社会的活動を書き込める手帳)の作成と活用
- ・区内の学校、大学と連携した地域参加活動の実施 など

(5) その他

<課題>

- ・サロン活動などを次の活動へつなげていくためのサポート
- ・20代~40代の参加を進めるしかけづくり
- ・「地域サークル活動」に関する広報・運営のあり方の再検討

<具体策例>

- ・地域サークル講座のような行政主催講座だけではなく、団体が主催する講座を共催・後援する形で幅広い講座を提供するような仕組みづくり など